重点分野

医療・福祉

まず、医療に関するものとして、中核的病院の誘致につきましては、宮代町と連携して、両町の担当間での事務協議を継続するとともに、情報収集や要望等を行ってまいります。

次に、子育てに関するものとして、旧杉戸小学校跡地に整備中の新たな民間認可保育所が令和5年4月より開所します。

また、旧杉戸小学校跡地に整備中の複合施設棟の2階に設置予定の杉戸子育て支援センターについて、令和6年4月の開設に向けて準備をしてまいります。

そして、こども医療費支給制度につきまして、入院について18歳年度末まで対象年齢を拡大することで、子育て環境の更なる充実を図ります。

また、妊婦歯科健康診査事業を新しく実施するほか、伴走型の妊婦の支援とともに、妊娠届出時と出生届出時に合計10万円の給付を行う出産・子育て応援事業、不育症や不妊症に関する各種助成等により、妊娠・出産を希望する家庭を手厚く支援してまいります。

次に、障がい者に関するものとして、手話普及啓発事業を行うとともに、福祉タクシー利用券について、1回あたりの利用可能枚数を増やし、利便性の向上を図ります。そして、町の地域福祉の基本となる第3次杉戸町地域福祉計画のほか、町の障がい者福祉の基本となる第6次杉戸町障がい者福祉計画・第7期杉戸町障がい福祉計画・第3期杉戸町障がい児福祉計画を策定してまいります。

次に、高齢者に関するものとして、杉戸町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定するとともに、シニアサロンガイドの作成等によるシニアサロンの周知及び支援、固定電話がなくても利用が可能な緊急通報システムの導入を開始するなど、高齢者が地域とつながりをもちながら、安心して日々を過ごせる環境づくりに努めてまいります。

シニアサロンの様子

教育

まず、学校教育に関するものとして、児童生徒分の給食賄い材料費の物価高騰分を町公費で負担いたします。

また総合学力調査の対象学年に小学1年生及び2年生を追加するとともに、基礎的な読解力習得のための読解力向上ワークシートを、小学5年生及び6年生の学年に新規に導入してまいります。

そして、教師の指導力向上を目指した学習指導アドバイザーを新規に配置してまいります。

そして、県内でも先進的な取組となりますが、杉戸第二小学校にリソースルームを試験的に設置し、様々な理由で教室に入れない児童に対し、安心して話をしたり、学んだりできるようにフォローを行ってまいります。

しごとのこころ出張授業

次に、社会教育に関するものとしまして、町の歴史を再発見するきっかけづくりとして、現在、広報すぎとの巻末に掲載されている杉戸町今昔往来伝をまとめた冊子を発刊してまいります。

また、杉戸西近隣公園の野球場に防球ネットを設置するとともに、南テニスコートやエコ・スポいずみなどの施設修繕を実施し、各種運動施設の利用者が安全、快適に利用できるよう、環境確保に努めてまいります。

そして、各公民館及び高野農村センターに、Wi-Fiを設置することで、インターネット閲覧や検索などをしやすくし、利用者の利便性を向上させてまいります。

産業

まず、農業に関するものとしまして、アグリパークゆめすぎとの機能強化事業として、公共下水道接続工事の実施や、駐車場拡張のための用地購入のほか、老朽化対策としての屋根・外壁等改修工事の設計を実施するとともに、新たに公園に相当する部分の管理費を負担することで、さらに人が集まる魅力ある施設にしてまいります。

また、農業祭については、内容をさらに充実させ、町の農業のPRに努めてまいります。

次に、商業に関するものとしまして、創業支援については、宮代町と合同で女性活躍・企業支援を行うための創業支援事業を行うとともに、商工会を通じた創業講座を実施してまいります。

月3万円ビジネス

また、引き続き、空き店舗等活用事業補助やビジネスパワーアップ事業費補助、#杉戸エール飯プロジェクトを実施するとともに、新たに新規創業者支援家賃補助を実施し、町内事業者の支援をしてまいります。

そして、(仮称)杉戸町商工祭を新たに開催することで、町の産業の活性化を図るとともに、賑わいづくりに努めてまいります。

次に、観光に関連するものとしまして、大落古利根川護岸に新設するデッキへ給水設備を設置するほか、観光案内所内にレンタサイクルを導入するなど、アフターコロナを見据えた観光振興事業を実施してまいります。

道路・交通

まず、町の玄関口となる東武動物公園駅東口通り線については、計画に基づき着実に推進するとともに、都市計画道路であります下野久喜線については、大落古利根川へ新設予定の橋りょうについて、久喜市が実施する設計等業務委託に対して負担金を支出してまいります。

また、町中央を縦断する町道I級11号線、埼葛広域農道については、引き続き計画的な舗装補修を実施するとともに、大字下高野地内の鎌倉橋については引き続き改修工事を実施する等、安心・安全な道路環境の保持に努めてまいります。

そして、交通の面では、道路照明灯のLED化を順次実施していくとともに、高野台東地内や大字茨島地内の通学路となる歩道の補修や整備に伴う測量設計、スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教育の実施等、交通安全対策を十分実施してまいります。

スケアード・ストレイト教育技法

その他

はじめに、防災に関連するものとしまして、消防団の報酬体制を見直し、処遇改善を図ってまいります。

また、自主防災会補助金の一部拡充により地域の防災力の向上に努めるとともに、避難所の防災備蓄品としてアレルギー対応の食料品や、暑さ寒さ対策となる物品の備蓄を行ってまいります。

杉戸第三小学校地区合同防災訓練

そして、大字木野川地内の春日台第3団地雨水排除施設の整備をすることで、地域の冠水対策を行ってまいります。

次に、防犯に関連するものとしまして、宮代町と共同で設置している消費生活センターの開設日を従来の週4日から1日増加するとともに町内の空家等の適正な管理を促進するため、空家等対策計画を策定してまいります。

次に、情報発信、シティプロモーションに関するものとして、町ホームページを全面的にリニューアルすることで、町の情報を積極的、かつ効果的に発信してまいります。

次に、環境に関連するものとして、従来からの電気自動車などの次世代自動車購入への助成や住宅用太陽光発電システム、蓄電システムへの助成のほかに、新たにガスや太陽熱を利用した住宅用エネルギーシステム導入への助成を追加してまいります。また、環境センターの老朽化対策として、長寿命化総合計画を策定してまいります。

次に、参加と協働のまちづくりの推進に関するものとして、旧杉戸小学校跡地に整備中の複合施設棟の1階に設置予定の、杉戸町コミュニティセンターについて、令和6年4月の開設に向けて、公民連携で準備を進めてまいります。

次に、行財政運営に関するものとして、新庁舎整備基本構想を策定するほか、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進として、会議の内容をAIが判別して、自動で文字起こしを行うシステムや、電子契約システムを導入してまいります。